

資料2

議事：ギャンブル等依存症の支援充実  
に向けた取り組みについて

## 国のギャンブル等依存症対策推進基本計画

(R5年度までの進捗概要)

～ギャンブル等依存症対策推進基本計画 R5年度までの進捗状況について（概要）～  
～ギャンブル障害・関連問題の実態調査報告書の結果から～

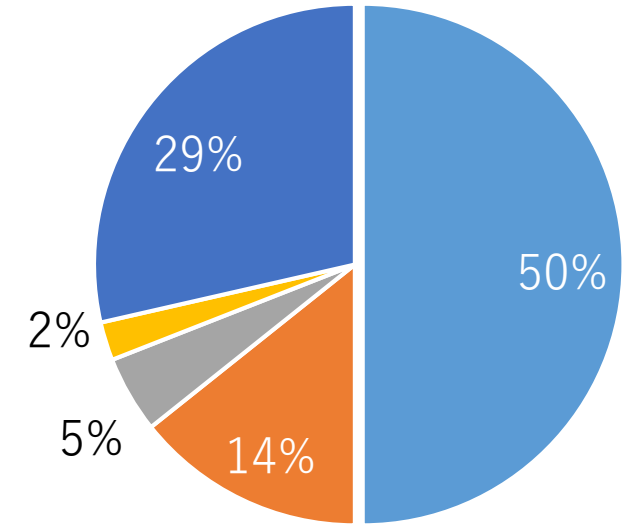
- ・インターネット投票サイトにおける購入制限を視覚的に訴えるための新たな表示方法を導入
- ・コロナ以降インターネットを利用したギャンブルの利用が増えた。
- ・インターネットを用いたギャンブルの購入方法は、「主にオンライン」「両方」との回答が過半数を占めた。等

## 岡山市のギャンブル依存症への主な取り組み

- ・ 専門相談支援
- ・ ホームページによる情報提供と普及啓発  
(掲載内容)
  1. ギャンブル、ギャンブル依存症とは
  2. ギャンブル依存症チェック項目
  3. ギャンブル依存症からの回復
  4. ギャンブル依存症への家族の対応
- ・ ギャンブル依存症支援者研修  
支援者対象にギャンブル相談支援のスキル習得を図る
- ・ ギャンブルからの回復支援プログラム (OCATG)  
ギャンブル依存症から回復を目指す者への集団治療回復プログラムの提供  
5回／クールを2クール実施。5回目にはGAの当事者から体験談を情報提供

相談経路別構成 (R5年度)

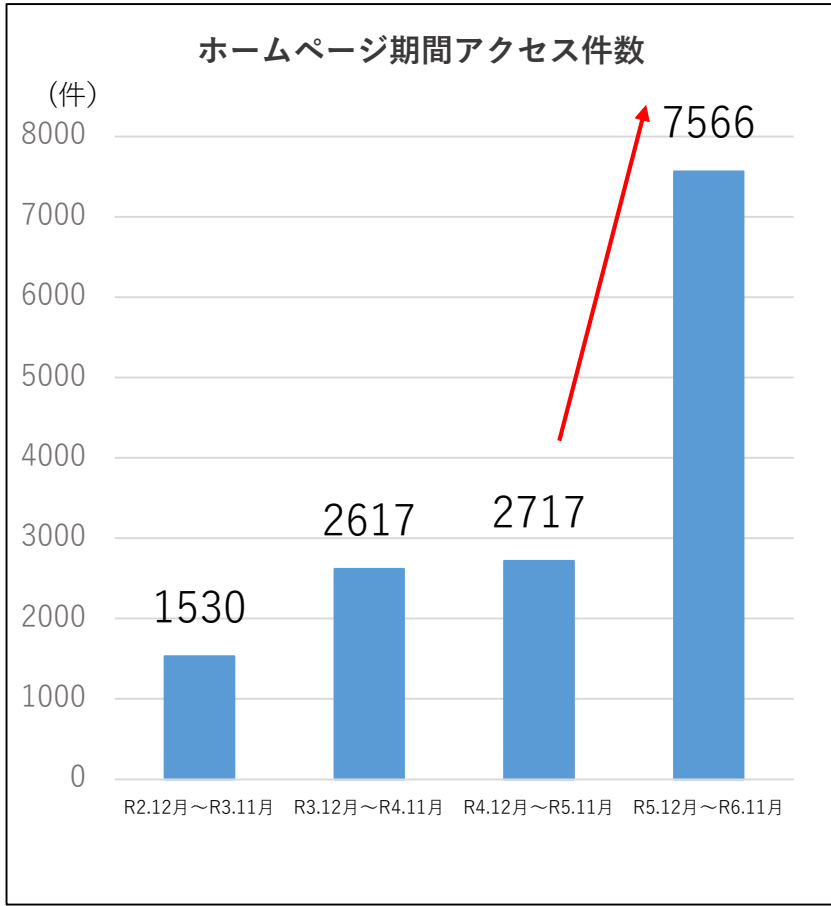
n = 42



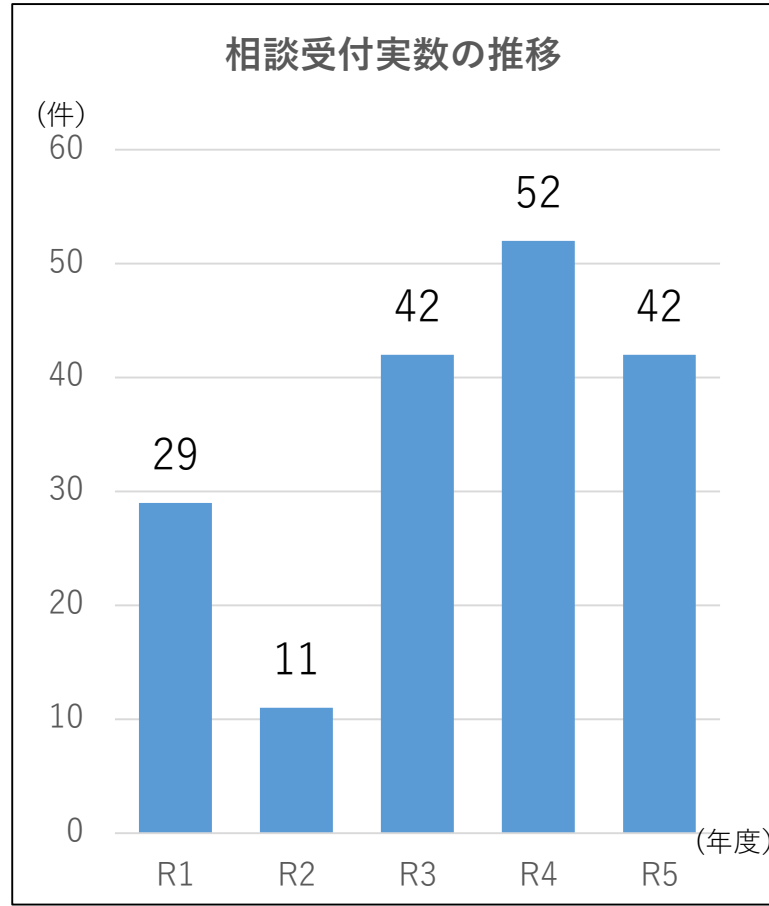
- インターネット
- 支援機関
- 広報誌
- カード
- その他

インターネットの閲覧が、相談経路の半数を占める。

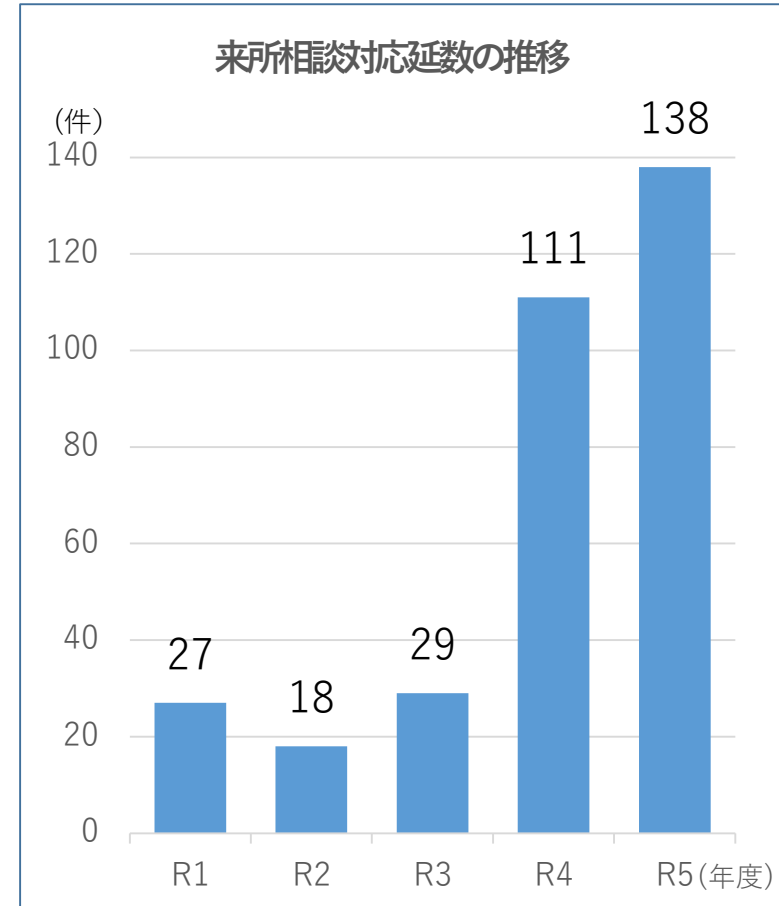
- ・ホームページの期間アクセス件数は、大幅に増えているが、相談受付実数は、例年通りの相談件数を推移し、アクセスした人が相談に結びついていないのか大きな変動は見られなかった。
- ・一方、来所相談対応延数は、R4年度以降大きく増えており、途切れない丁寧な継続支援の関わりが大きいと考える。



・ R5年12月～R6年11月の期間アクセス件数は、R4年12月～R5年11月より約2.8倍に増加している。



・ 相談受付実数は、R4年度が最も多く、R5年度はR3年度と同水準となっている。

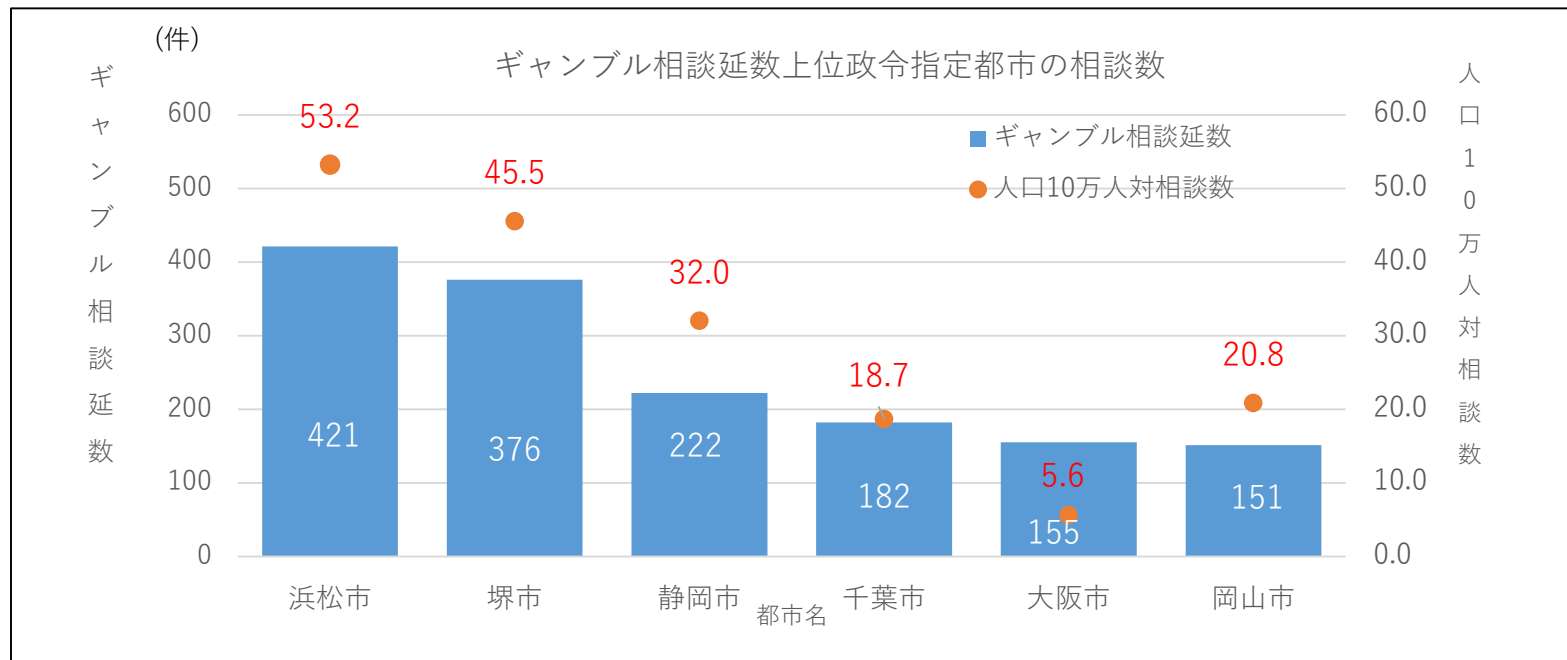


・ R4年度以降、来所相談対応延数は、大幅に増えている。

・人口10万人対相談数は、20政令指定都市中の6番目。政令指定都市平均比の約2.7倍。  
 ・全国比では約3倍。

## 政令指定都市におけるギャンブル相談数

相談数上位政令指定都市	相談延数	人口10万人対相談数
浜松市	421	53.24
堺市	376	45.51
静岡市	222	32.02
千葉市	182	18.67
大阪市	155	5.63
岡山市	151	<u>20.84</u>
(参考) 政令指定都市	2,116	<u>7.61</u>
(参考) 全国	7,776	<u>6.16</u>



### 【各市のギャンブル相談支援の取組状況や工夫点】

- ①相談経路→インターネットを介しての相談が増えている。
- ②主な事業→普及啓発は、ホームページでの発信、紙媒体の配布。  
 個別相談（当事者、家族）、家族教室、専門職による個別相談、専門医療機関での依存症相談（毎月）、回復支援プログラム（集団・個別）等実施。
- ③連携事業→県と市が合同相談会として年1回、関係機関（医療機関、当事者会、債務関係（弁護士、司法書士）、保健所など）が集まり、相談を受ける会を開催している。